

翻訳にあたってのヒント

その 50

色にちなんだいろいろな英語

第 7 回

● Blue

「blue」は、白・黒・赤とならび、どの言語でも早い時期に生まれたことばであるようだ。このことから、英語でも「厳格・高貴・優秀」というポジティブなイメージから、「わいせつ・憂うつ・ひわい」といったネガティブなイメージまでをも表す実に多様な意味も持っていると言われている。

まず、「幸福のシンボル」である **The Blue Bird** はメーテルリンクの小説で知られている。この一方で、**bluebeard** (青ひげ) はフランスの伝説にある 6 人の妻を次々に陰惨な方法で殺す残酷な男。そして、**blue blood** が、純血のゆえに肌が白く静脈がはっきり青々と見えるところに由来するという説から、「名門、貴族」の意味。この反面で、「労働者階級」には **blue collar** があてられている (その源をたどると、ローマの奴隷たちが青い服を着せられたという古事にたどり着くという)。このせいか、警察官、軍人、学生、その他には、濃紺系をはじめとする紺系の制服がいろいろな職種に使われ続けてきている。さらに、**blue** には「保守党员」「北軍」の意味もあるが、いずれも着用した衣服の色に由来するという。

青という色のイメージには、「暗い、硬い、冷ややか」などの特徴が見え隠れしていることから、青は陰気な色であるともいえる。そのせいだろうか、**blue** は「陰気、悲観、冷たい」などの意味もあり、**blue devil** が「憂うつ」、**blue funk** が「怖じ気」、**blue laws** が「冷たく厳しい法律」で、**blues** が「かなしい黒人のメロディー」のことを指す。先述したように、**blue** には「優秀・学問のある」の意味があることから、**bluestocking** が「女流の学者や文学者」、**blue lady** が「才媛」のことであること他に「厳しさ、堅苦しさ」も意味する。さらに先のネガティブなイメージに示したように、「ひわい、わいせつ、下品」の意味もあるので、**blue movie** が「ポルノ映画」のことを指すことはご存じの方もいらっしゃるだろう。ちなみに、**blue dahlia** は幻の花であるから「珍中の珍」の意であるようだ。

青系色の英語表現：

- ▼ **Janet called on us out of the blue.** ジャネットは突然私たちを訪問した。
- ▼ **He talks a blue streak, and we can't follow his ideas.** あまりにもたくさんを、とても早口でしゃべるので皆彼の考えについていけない。
- ▼ **The teacher had to talk until he was blue in the face in order to convince the student.** その教師は、その生徒を納得させるために疲れてへとへとになるまで話さなくてはならなかった。
- ▼ **It is interesting to collect old stamps, but you only find valuable ones once in a blue**

moon. 切手を集めるのは興味のあることではあるが、珍しいものは滅多に見つからない。

■ blue blood 高貴な血筋

have blue blood (in one)の形で、「名門の出である、高貴な血筋を引いている」

人 is a blue blood. 人は高貴な家柄の人である。(人を指す場合には可算名詞扱いとなる)

■ blue film ピンク映画

■ blue joke (下ネタ[のジョーク])

■ blue story わい談 (こういった意味では、日本語ではピンクを使う)

■ feel blue 憂うつになる、ブルーな気分である

■ blue book [米語](自分で購入する)試験用解答用紙

■ blue book 紳士録、政府職員録、青書(せいしょ=英国議会・政府機関の報告書)

■ ... once in a blue moon めったに(ごくまれにしか) ...しない

■ ... till one is blue in the face 口をすっぱくして~する

以上、50回目これにて終了。